

《薬局サーベイランスコメント》

『インフルエンザの患者数は7週連続で減少、学校等の春休みによって第13週以降は更なる減少が予想される』

2018年3月27日
済生会中津病院感染管理室
安井 良則

今シーズン（2017/2018年シーズン）の2018年第12週（3月19日～25日）の1週間当たりのインフルエンザの推定患者数は174,455と7週連続して前週の値よりも減少しました（図1）。また、週明けの月曜日（2018年3月26日）の推定患者数は31,064と前週の月曜日の値を下回っており、インフルエンザの患者数は更に減少していくものと予想されます。

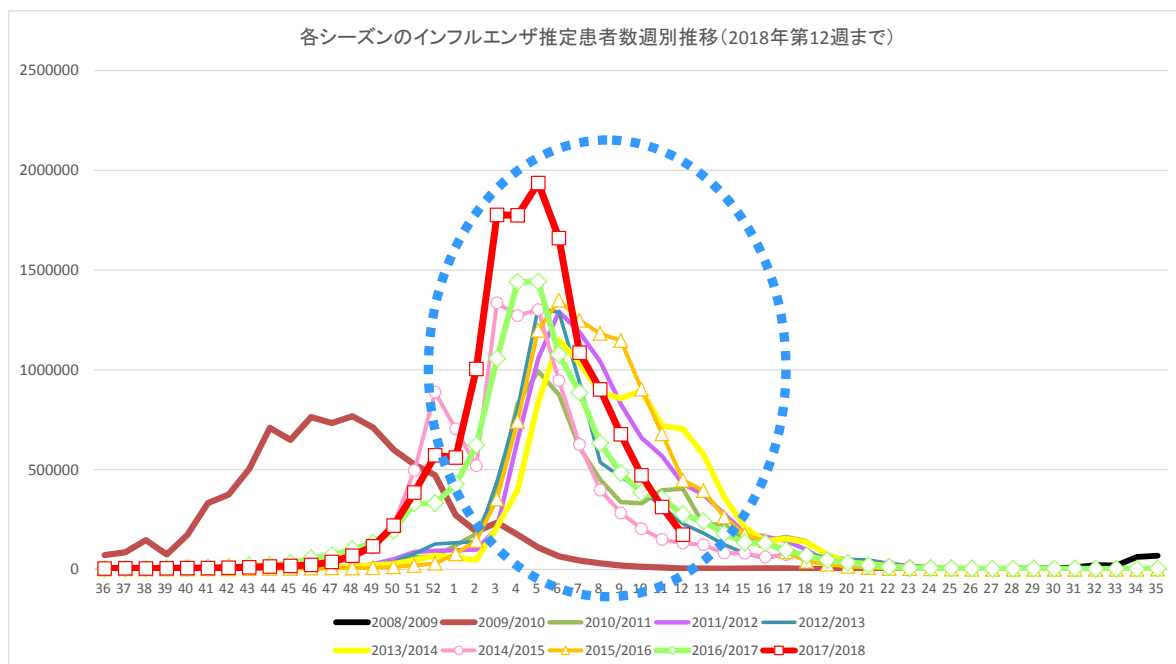


図1. 過去7シーズンと今シーズン（2017/2018年シーズン）の第36～第12週までのインフルエンザ推定患者数の週別推移（2018年第12週の推定患者数=174,455）

2017年第36週から2018年第12週までの累積の推定患者数は13,835,646であり、2017年10月1日現在の人口統計を元にした累積罹患率は10.92%となりました。年齢群別での累積罹患率は5～9歳（46.1%）、10～14歳（33.1%）、0～4歳（25.4%）、15～19歳（15.4%）、40～49歳（9.6%）、30～39歳、50～59歳、20～29歳、60～69歳、70歳以上の順となっています（図2）。

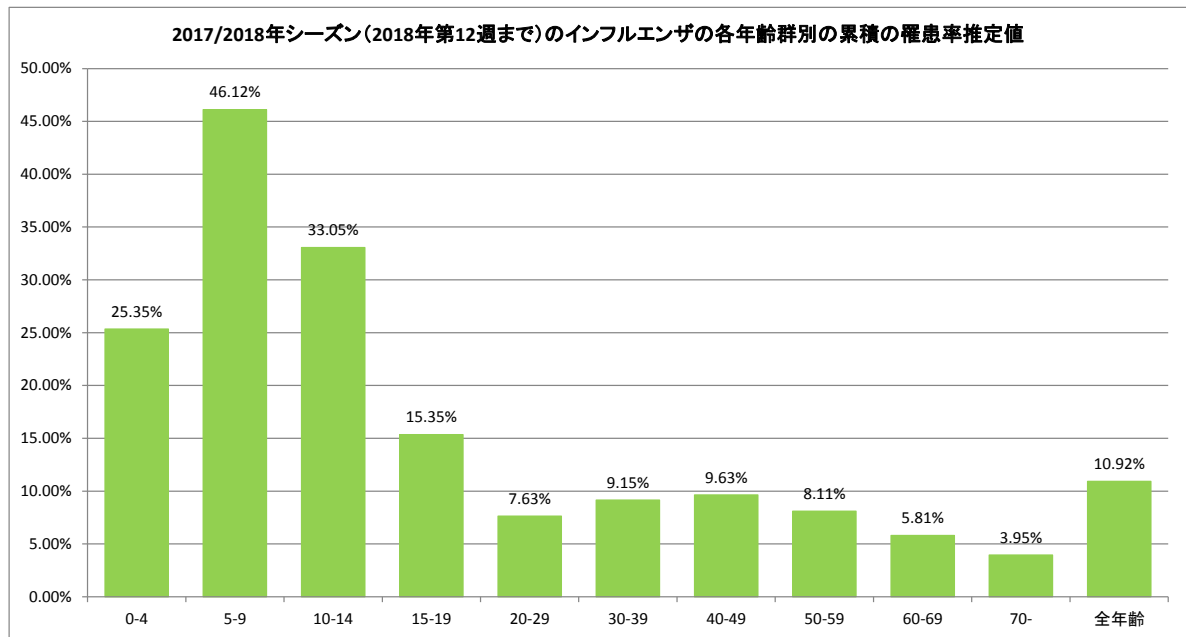


図 2. 各年齢群のインフルエンザ累積罹患率の推定値(2017 年第 36~2018 年第 12 週、累積推定患者数= 13,835,646)

国立感染症研究所感染症疫学センターの病原微生物情報 (<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr/510-surveillance/iasr/graphs/1532-iasrgv.html>) によると、今シーズンこれまでのインフルエンザ患者由来検体から検出されたインフルエンザウイルス(6,545 検体解析)は、B 型 46.0%、A/H1pdm 29.9%、A/H3 (A 香港) 亜型が 24.0%の順となっています(図 3)。

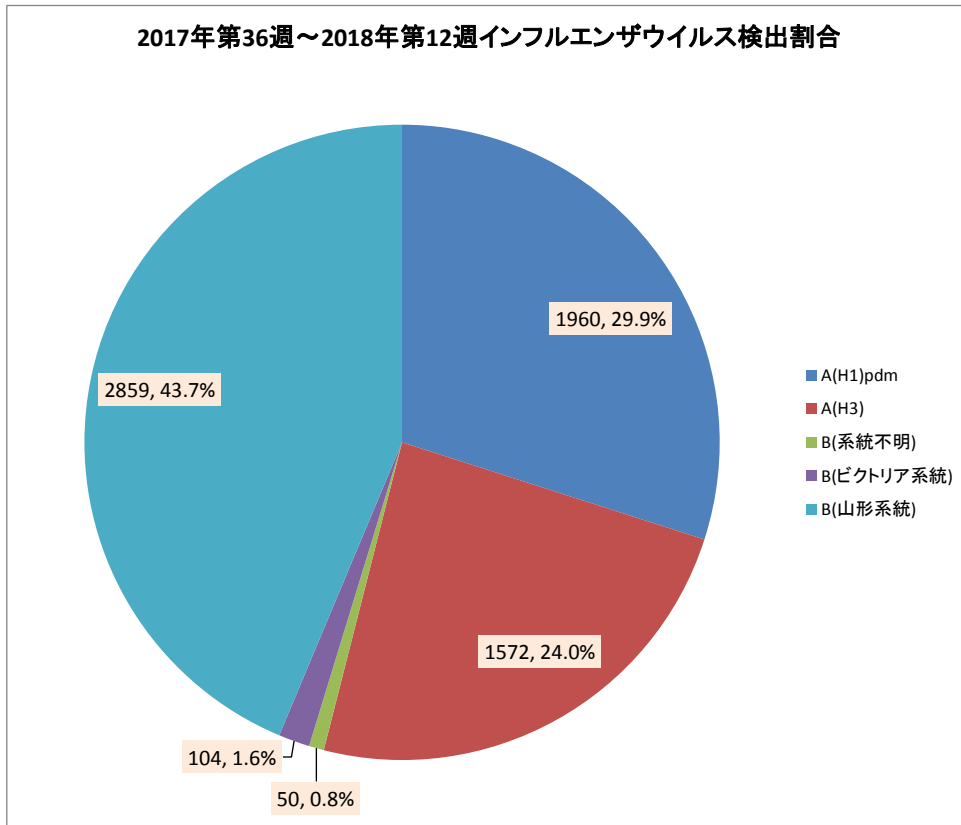


図 3. 今シーズンのインフルエンザウイルスの検出割合（2017 年第 36 週～2018 年 12 週、検出数 6,545）

第 12 週のインフルエンザの推定患者数は約 17 万人と 7 週連続して減少がみられました。今後学校等が春季休暇に入ることによって、第 13 週以降インフルエンザの患者数は更に減少することが予想されます。